

令和8年度

# 病害虫発生予察情報 第3号

## 4月月報

北海道病害虫防除所 令和8年(2026年)5月18日  
<http://www.agri.hro.or.jp/boujoshou/>  
Tel:0123(89)2080・Fax:0123(89)2082

### I. 気象概況 札幌管区气象台発表 北海道地方気象速報

－かなりの高温と、かなりの少雪－

4月は、低気圧が北海道の北を通過することが多く、高気圧に覆われやすかった。このため、北海道地方の日照時間は多く、オホーツク海側と太平洋側では降水量が少なかった。また、暖かい空気に覆われやすく、低気圧に向かって暖かい空気が流れ込む日も多かったため、北海道地方の気温はかなり高かった。北海道地方の降雪量はかなり少なく、日本海側とオホーツク海側の降雪量の平年比は、1961年の統計開始以降、小さい方から第2位の記録となった。

上旬：周期的に低気圧が北海道付近を通過し、低気圧の影響を受けやすかった。このため、北海道地方の降水量は多かった。低気圧に向かって暖かい空気が流れ込みやすかったため、北海道地方の気温はかなり高く、旬平均気温の平年差は1946年の統計開始以降、4月上旬として大きい方から第1位の記録となった。

中旬：低気圧や前線の影響を受けにくく高気圧に覆われやすかったため、北海道地方の降水量は少なく、日照時間は多かった。暖かい空気に覆われやすかったため、北海道地方の気温はかなり高かった。特に、太平洋側の旬平均気温の平年差は1946年の統計開始以降、4月中旬として大きい方から第2位の記録となった。

下旬：低気圧や前線の影響を受けにくく高気圧に覆われやすかったため、北海道地方の降水量は少なく、日照時間は多かった。

#### 気候表(気温は平年差(°C)、降水量・日照時間は比(%))を示す)

	気温偏差°C	階級	降水比%	階級	日照比%	階級
北海道22 地点平均	+2.0	か高	72	並	112	多
日本海側10 地点平均	+2.0	か高	87	並	113	多
オホーツク海側4 地点平均	+1.4	高	58	少	107	並
太平洋側8 地点平均	+2.2	か高	60	少	114	多

注) 階級分布図の気温・降水量・日照時間は、概ね「高(多)」、「並」、「低(少)」の3段階で表示します。各階級の幅は、平年値の作成期間(1991~2020の30年間)における各階級の出現率が1:1:1となるように決めてあります。なお、平年値作成期間内の上位、下位10%の範囲に入る場合は「か高(多)」、「か低(少)」(か→かなり)で表します。

## II. 病害虫発生概況

注) 本資料における表中の0の表記について

0は調査時に発生がなかったことを示す。0.0あるいは0.00などは、四捨五入により数値が表示されていないことを示す。

### A. 秋まき小麦

#### 1. 雪腐病 発生量 少

予察ほにおける根雪始は、長沼町で平年より遅く、芽室町では平年よりやや早く、訓子府町では平年より早かった。融雪期は、長沼町で平年より早く、芽室町では平年よりやや早く、訓子府町で平年並であった。積雪期間は長沼町で平年より短く、芽室町では平年並、訓子府町では平年より長かった。

予察ほにおける「きたほなみ」の雪腐病発病度は、いずれの地点でも平年より低かった。病原菌種別で見ると、長沼町では雪腐褐色小粒菌核病及び紅色雪腐病、芽室町では雪腐黒色小粒菌核病及び雪腐褐色小粒菌核病、訓子府町では紅色雪腐病が主体であった。

一般ほにおける発生面積率、被害面積率はともに平年より低かった。病原菌種別では、雪腐黒色小粒菌核病、紅色雪腐病の割合が高い地域が多かったが、空知、後志、檜山、留萌地方では雪腐褐色小粒菌核病の割合も高かった。

予察ほにおける積雪期間

地点	根雪始		融雪期		積雪期間(日)	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
長沼町	12月22日	12月11日	3月9日	3月25日	78	106
芽室町	12月9日	12月12日	3月30日	4月2日	112	112
訓子府町	12月3日	12月16日	3月25日	3月27日	113	102

予察ほにおける発生状況

地点	品種名	発病度		平年数
		本年	平年	
長沼町	きたほなみ	7.0	12.6	10
芽室町	きたほなみ	5.4	30.2	10
訓子府町	きたほなみ	3.5	37.6	10

予察ほにおける病原菌種別発生割合(%)

地点	長沼町		芽室町		訓子府町	
	きたほなみ		きたほなみ		きたほなみ	
菌種	本年	平年	本年	平年	本年	平年
雪腐大粒菌核病	0	0	14	38	0	68
雪腐黒色小粒菌核病	0	2	44	11	5	13
雪腐褐色小粒菌核病	51	53	42	2	5	2
紅色雪腐病	44	44	0	49	90	17
褐色雪腐病	5	2	0	0	0	0

一般ほにおける発生状況(振興局別調査結果)

振興局	作付面積(ha)	発生面積率(%)		被害面積率(%)		発生ほの病原菌種別発生割合(%)					
		本年	平年	本年	平年	大粒	褐小	黒小	紅色	褐色	その他
空知	11,129	13.4	22.7	1.0	5.4	0	44.1	5.0	16.8	34.1	0
石狩	5,594	27.7	36.3	1.8	7.2	0	30.8	41.0	11.4	16.9	0
後志	1,079	7.2	29.2	0	1.6	0	69.2	0	7.7	23.1	0
胆振	1,298	0.3	3.1	0	0.2	0	0	0	0	100	0
檜山	781	11.9	17.7	0.9	0.9	0	61.0	7.1	12.9	19.0	0
上川	10,823	17.8	48.3	0.5	10.1	0	18.0	20.0	37.5	24.5	0
留萌	832	30.6	56.3	4.2	12.7	0	61.4	5.0	5.0	28.6	0
オホーツク	23,541	7.8	20.5	1.2	1.7	0	1.7	43.4	47.9	7.0	0
十勝	42,671	14.4	17.6	0.1	1.2	18.1	0.7	33.8	46.3	1.0	0.04
全道計	97,748	13.7	23.6	0.6	2.9	8.3	13.7	29.8	36.7	11.5	0.02

注) 大粒：雪腐大粒菌核病、黒小：雪腐黒色小粒菌核病、褐小：雪腐褐色小粒菌核病、  
 紅色：紅色雪腐病、褐色：褐色雪腐病、その他：スッポヌケ症等

## 2. 赤さび病 発生期 早 発生量 やや多

予察ほにおける「きたほなみ」の初発日は、いずれの地点においても平年より早かった。発生量は長沼町で平年より多く、訓子府町、芽室町では平年並であった。

予察ほにおける発生状況

地点	品種名	初発日		病斑面積率(%)*		平年数
		4月6半旬		4月6半旬		
		本年	平年	本年	平年	
長沼町	きたほなみ	4月4日	4月15日	0.17	0.02	10
芽室町	きたほなみ	4月10日	5月11日	0.00	0.00	10
訓子府町	きたほなみ	4月8日	5月12日	0.01	0.00	10

注)\*:全葉調査の平均値

## 3. うどんこ病 発生期 ー 発生量 並

予察ほにおける「きたほなみ」の初発日は、長沼町では平年より遅く、訓子府町で平年並であった。芽室町では初発を認めていない。発生量は長沼町では平年よりやや少なく、芽室町、訓子府町では平年並であった。

予察ほにおける発生状況

地点	品種名	初発日		病斑面積率(%)*		平年数
		4月6半旬		4月6半旬		
		本年	平年	本年	平年	
長沼町	きたほなみ	5月9日	4月29日	0	0.02	10
芽室町	きたほなみ	未発生	5月14日	0	0.01	10
訓子府町	きたほなみ	5月11日	5月10日	0	0.01	10

注)\*:全葉調査の平均値

## B. あぶらな科野菜

### 1. コナガ 発生期 やや早 発生量 やや少

フェロモントラップによる雄成虫の初誘殺日は、比布町で平年より早く、長沼町及び北斗市で平年よりやや早く、芽室町で平年並、訓子府町では平年より遅かった。誘殺数は、長沼町で平年より多く、芽室町で平年並、比布町で平年よりやや少なく、北斗市では平年より少なかった。訓子府町では4月中の誘殺は認められなかった。

コナガのフェロモントラップによる誘殺数と初誘殺日

月・半旬	長沼町		比布町		北斗市		芽室町		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4月1半旬	0	0.4	2	0	0	3.0	0	0	0	0
2半旬	10	0.9	0	0.8	0	3.9	0	0.7	0	0
3半旬	3	1.9	0	7.4	2	8.1	1	1.6	0	0.4
4半旬	7	2.6	5	4.5	1	10.6	1	1.2	0	0.7
5半旬	0	3.4	4	6.4	5	12.8	2	2.1	0	1.0
6半旬	1	3.1	9	15.4	3	14.9	7	1.4	0	0.5
初誘殺日	4月9日	4月14日	4月4日	4月15日	3月29日	4月3日	4月15日	4月17日	5月8日	4月23日

## C. りんご

### 1. ハマキムシ類 (ミダレカクモンハマキ) 発生期 やや早 越冬卵量 やや少

長沼町の予察園における5年枝3本当たりの越冬卵塊密度は、0.2卵塊(平年:0.7卵塊)と平年よりやや低かった。越冬卵のふ化始は、4月23日(平年:4月28日)と平年よりやや早かった。